

## 株式会社 IMAGICA TV 番組審議会議事録 2014 年 4 月 25 日開催分

- 開催日： 2014 年 4 月 25 日(金) 17:00～18:00
- 開催場所： 株式会社 IMAGICA TV 会議室
- 委員の出席： 委員の総数 8 名  
出席委員数 6 名
- 出席者： 審議員：池ノ辺直子、音好宏、草場滋、高寺重徳、立川談慶  
、湯浅正敏（以上 50 音順、敬称略）  
事業者：木戸英晶、伊藤明、栗林絹江、宮澤辰之、清正徹、井田勇、  
野村憲一、吉沢雅治、齋宏伸、永野成一郎（記）
- 審議： 「イマジカ BS」、「歌謡ポップスチャンネル」の番組内容、編成内容に  
関する審議

■「イマジカ BS」の 4 月改編及び、「ボルジア 欲望の系譜 season2 」  
#1 について、各委員から以下のような意見・質問がなされた。

「4 月改編について」

- ・誰に見せるのか。80 年代の「ひまわり」にしても古く感じている。  
映画は時代ごとに上書きされているので古い作品は見せる工夫が必要。
- ・編成するだけでなく若い層が映画を見る土壌を作ることも必要ではないか

「ボルジアについて」

- ・ヨーロッパの史劇は日本では分かりにくいことが多い。そのため、二ヶ国語、字幕放送を含めて、分かりやすくする仕掛けが必要では。
- ・ボルジアはイタリアにある感覚であって日本には分かりにくい。そこは逆に有料放送の良さで、日本でそのターゲットを狙い多チャンネルの中で自分たちの特色としての位置付けにすることもできるのでは。
- ・歴史背景を説明する資料、チラシ、ホームページを作成し理解を促進することも必要
- ・ボルジアは出演者が多く、登場人物の識別がしにくいと感じることもある。

■「歌謡ポップスチャンネル」オリジナル番組「笑顔がっつけたハーモニー～人生の贈り物～」3月放送、「演歌男子 #1」1月放送について、各委員から以下の様な意見・質問がなされた。

「笑顔がっつけたハーモニー～人生の贈り物～について」

- ・八代亜紀が出演した理由が分かりにくく、必要性が感じられない。子どもとの関係性を説明することが演出で必要ではないか
- ・伝えたいメッセージを明確にする必要を感じた

「演歌男子について」

- ・若手3人の雑談では話がつまらなさと感じるがあった。
- ・出演者が自由に会話するのではなく、良さを引き出す演出を行う必要があるのではないか
- ・若手演歌歌手としての一生懸命さを演出するなど良さを引き出す仕掛けがあった方がよい。

2014年1月～3月における「イマジカ BS」、「歌謡ポップスチャンネル」に対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について、当社編成・制作局長より、その件数や代表的な内容といった概要説明を行った。

連絡事項：次回番組審議会は、2014年7月25日開催予定。